

いわいずみ



ふるさと岩泉の
大家族 ⑫

主な補正予算事業をピックアップ… 3
ぴーちゃんを活用したテレビ受信 …… 4
町の考えを問う (6 議員が一般質問) … 6～12
町づくりに多くの意見『議員と語る会』… 14・15

小成地区の三浦健一さん一家です。ワカメやコンブの養殖業を営んでいます。コンブの収穫作業がひと段落したら家族でキャンプをしたいそうです。94歳のおばあさんが元気に100歳を迎えられますように。

その先へ

6 月
定例会

一般会計 8億6千万円を増額

6月定例会のあらまし

6月定例会は、6月6日から6月8日までの3日間の会期で開かれ、初日の本会議では、条例改正、補正予算、契約締結など議案24件、報告10件が提出されました。また、一般質問では6人の議員が登壇し、町政や地域の抱える課題について論戦を展開しました。町長から提出された条例改正や補正予算、町道路線の認定は、特別委員会を設けて集中審査。

その結果、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

復興・産業振興支援へ

平

成30年6月補正予算は町単独事業費、災害復旧・復興関連、人件費の調整が主なもので、一般会計と簡易水道事業など4つの特別会計予算が提出、可決されました。

そのうち、一般会計予算は8億6千万円を増額、総額で137億2千万円。特別会計予算の増額予算を合わせると全体では176億1千万円となりました。

30年度当初予算は町長選挙が行われたことから骨格予算の編成でしたが、今回の補正予算は、町単独事業などの政策的経費が盛り込まれた肉付け予算となっています。

（特別委員会の審査内容です）
4・5ページに掲載しています



おしなびーちゃん

骨格予算と肉付け予算

骨格予算は、町長選挙を控えた町が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算です。また、肉付け予算とは、選挙後に町長の意向を反映した事業を盛り込んで編成する補正予算を言います。

条例改正の主な内容と町道認定

- ◆岩泉町課設置条例の一部改正
新たに危機管理課を設置し、総合的に町の危機管理業務を行います。
- ◆一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
課長の職務等級に危機管理監を新設しました。
- ◆町道路線の認定
台風被災者の住宅移転予定地に、新たな町道を認定しました。
路線名 東三本松8号線
起点 岩泉字三本松9番7地先
終点 岩泉字三本松18番3地先

6月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	8億6984万円	137億2984万円	
特別会計	介護保険	368万円	15億328万円
	簡易水道	7168万円	4億8658万円
	観光事業	96万円	1億8796万円
	公共下水道事業	3968万円	2億2558万円

復旧・復興そして

災害復興



災害公営住宅整備 1億797万円
住宅移転地町道開設 6847万円

農業振興



わさび栽培・種苗管理委託
590万円

主な事業を ピックアップ

林業振興



しいたけ生産補助金
247万円

農業振興



やまぶどう生産拡大補助金
140万円

介護支援



家族介護慰労金
50万円

水産振興



特殊冷風乾燥機購入
400万円

共同受信組合は順次廃止へ

ぴーちゃんを活用したテレビ受信



ラジオの受信も検討中

条例補正予算等審査特別委員会（坂本昇委員長）は6月9日に開かれ、岩泉町課設置条例の改正やケーブルテレビ施設整備事業として1億2千万円を含む補正予算などの12議案を慎重に審査しました。その結果、付託された議案すべてを原案のとおり可決すべきものと決定。同日開かれた本会議において、全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

信 通 ケーブルテレビ事業とは 難視地区の解消改善図る

問 ケーブルテレビ事業の内容と整備の目的は。

答 テレビ難視地区の解消を目的として、ぴーちゃんねつとで使用している光ファイバーケーブルを活用し、各家庭にテレビ信号を送る。

問 これにより共同受信組合を順次廃止していく。

問 全町一元化にはならないのか。また開局時期と料金は。

答 あくまで難視対策として実施するため、共同受信組合が対象である。開局時期と料金設定は現在調整中だが、できるだけ早く行う。

なお、地デジ化や台風災害で被災した組合で国庫補助金を受けている場合、財

産処分年限（※）の関係ですぐにはできない。

おしゃべり
まちの声

中居 明雄さん
（大川 64歳）

台風災害の影響で「地デジ放送」を見ることができないでいます。テレビ組合の組合員が少なく維持管理をすることができません。ケーブルテレビが早く整備されればありがたいです。

（※）国の補助金を受けて整備（取得）した財産は、法律の規定により一定の期間を経過しなければ処分することができません。

教育 小川地区に放課後児童クラブを 来年度の開設に向けて調整する



放課後児童クラブの開設が待たれる

問 岩泉・小本地区に続き、要望のある小川地区にも放課後児童クラブを開設できないか。

答 役場に必要と訴えてくる保護者もおり、クラブの設置場所などを検討し、来年度には開設するよう調整する。

問 岩泉・小本地区の利用状況は。

答 5月末時点で、岩泉放課後児童クラブ50人、小本放課後児童クラブ15人が登録しており、いずれも増加傾向である。

おしゃべり ますの声

菊地 裕美さん
(小川 33歳)

共働きの私たちにとつて放課後や夏休み、冬休みとかの長期休暇に児童クラブがあれば非常に助かります。岩泉や小本はあるのになぜ他にはないのか疑問です。

観光PR動画の内容と配信は 岩泉町の魅力を多方面に発信

問 PR動画はどういった内容の物を作って、どこでPRや配信をするのか。

答 インバウンド対策として、主に英語で動画を作成する。

スブックに配信する。

また、その他イベントなどでも活用し、誘客につなげる。

景観では龍泉洞や早坂高原、熊の鼻、食では短角牛肉、ヨーグルトなど岩泉の魅力あるものを映像にまとめ、ユーチューブやフェイス

担当者の声

経済観光交流課 周 由希
私の大好きな岩泉の魅力的な場所を、たくさんの人に知ってもらえるように一生懸命アピールします。

危機管理課の設置意図は 防町民の防災意識の醸成を

問 新しく危機管理課が設置されるが、その体制と仕事の内容は。

答 危機管理監をはじめ7人体制(兼務含む)で、災害関係をベースとして危

機管理全般を担当する。

問 具体的な日常の業務はどのようなものか。

答 自主防災組織と連携をしながら住民に対して防災意識の周知徹底を図り住民の命を守ることに心がけていく。

防災士50人養成へ

防災士の資格取得費用として225万円の補正予算計上がありました。

これは、地域の防災体制を強化するために行う事業で、各地域、団体に配置する予定です。



資格取得に補助

町の考えを問う

一般質問

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。6月定例会では、6人の議員が一般質問を行い活発な議論を展開しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（7ページから12ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

6人の議員が発言

～質問内容～

野館 泰喜 議員（12ページ）

- ・ 門地区にロードヒーティングを
- ・ 子育て支援条例の一本化を

林崎 竟次郎 議員（11ページ）

- ・ 県と同じ家賃の減免制度に
- ・ 給食費の一步踏み込んだ助成を

坂本 昇 議員（10ページ）

- ・ 脳卒中死亡率日本一からの脱却を
- ・ 廃校舎の活用で地域活性化を

三田地久志 議員（9ページ）

- ・ 幼児教育の充実を
- ・ 公設民営塾の開設を

畠山 和英 議員（8ページ）

- ・ ホールディングスの経営方針は
- ・ 農業公社の運営課題は

畠山 昌典 議員（7ページ）

- ・ 地域防災計画の推進を
- ・ 過去の質問の進捗状況は



町政へ多くの提言を行った一般質問

質疑全文を記録した会議録は、9月下旬ごろから町立図書館または役場各支所図書室で閲覧可能となる予定です。また、ぴーちゃんねっとでも一般質問の様態を動画配信しておりますので、ぜひご覧ください。



地域防災計画の推進を

はたけやまさのり
富山昌典 議員

生命を守る環境つくる

中居町長



地域の安心安全を守る消防団

問 台風災害を踏まえ修正された「地域防災計画」の住民への周知は、いつまでにどのような方法で行うのか。

また、町では防災士の養成に力を入れる方針だが、資格取得の対象者や配置の仕方を示せ。

さらに、危機管理統括監を新設し防災に対する意識込みが感じられるが、防災の町としての理想の形と具体的な取り組みを伺う。

町長 「地域防災計画」については、自主防災協議会の会議や学びの出前講座などで本年度中に各地区で説明会を行い、順次周知に努める。

防災士の養成と配置は、幅広い地域や年代に積極的に働きかけて資格取得してもらい、各地区に配置できるように取り組む。

台風災害時に行政対応の限界を痛感したことから、「自助力」「共助力」「近所力」による地域で生命を守る環境づくりが必要である。そのため各自防災協議会と行政が一体となった防災体制の確立を進める。

過去の質問の進捗状況は 支援の継続や検討を行う

問 これまでに一般質問を行った「ふれあいランド」岩泉の整備計画「生涯スポーツ振興、岩泉スポーツクラブへの支援」「子育て世帯への支援対策」「酪農振興対策、大規模搾乳牧場の整備計画」これらの進捗状況は。

実した事業を継続する。酪農振興対策は、昨年度、2戸の酪農家が、畜産クラスター（※）事業を活用し、搾乳機械装置を整備した。今後においても畜産クラスター協議会を実施主体として酪農振興に努める。

また、大規模搾乳牧場の整備計画については、台風災害からの復旧・復興を最優先しており、再検討せざるを得ない状況である。

町長 ふれあいランド岩泉の陸上競技場・サッカー場・パークゴルフ場の再整備は、引き続き検討を進め、しかるべき時期に方向性を示す。

スポーツ振興策については、各競技団体の実態把握や要望を確認し、相互に意見交換を行いながら支援に努める。

子育て世帯支援は、各種事業の精査、検証を進めながら住民ニーズ調査を行い、充



1次産業の発展が重要

17文字の
ひとりごと

我が想い、
町民と歩む

再建へ

（※）畜産クラスター…畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制のこと。（農林水産省 HP より）



ホールディングスの経営方針は

はたけやまかずひで
富山和英議員

健全経営に向けて対応していく 中居町長

問 岩泉ホールディングス(株)の組織目標、経営戦略、経営管理をどのように展開し、オーナーとして町長はどのように関わり取り組ん

でいく考えか。
 また、グループ会社の経営統合、完全民営化を進めるのか、町長の考えを問う。

町長 岩泉ホールディングス(株)の経営は、まずはグループ会社個々の安定経営、業績向上が基本的な考え方である。
 町と会社が連携を密に課題の整理、取組方針、組織体制の在り方などの検討を進めているところである。

問 町の経営責任は重い。意思決定、意向の伝達を含め同社の経営に対する所見を問う。

町長 町と三セクとの在り方、危機管理、報・連・相、説明責任などをどう果たすか、あるべき方向、仕組みづくりを見出して、健全経営に向け対応していく。

三セクの安定的な経営が求められる

農業公社の運営課題は 経営改善の議論深める



農業の振興にはかせない公社

問 岩泉農業振興公社は、地域の農業、畜産業のサポート役として活動している。運営上の問題点、課題をどう捉え、今後どう運営をしていく計画か。

また、岩泉ホールディングス(株)の傘下にして経営統合すべきと思うがどうか。
町長 岩泉農業振興公社は、循環型環境保全農業の推進を基本に捉え、公共的な農業振興を推進している。
 資材費の高騰など同公社が抱える課題も多く、経営環境が厳しい。今後は、利用料金や販売製品価格の見直し、製造コストの低減など町としても同公社の経営改善の議論を深めていく。
 岩泉ホールディングス(株)との経営統合については、同公社の経営改善が最優先である。

その他の質問
 ▼町出資の第三セクターについて

17文字の
 ひとりごと

行政と

三セク経営

二刀流



幼児教育の充実を

みたちひさし 議員
三田地久志

改善・充実を図る

三上教育長

問 町立のこども園は、教育と保育の2つの分野を兼ね備えた施設であるが、さらに、教育に重点を置いた運営ができないか聞く。
また、子どもたちの将来や、健康問題なども併せて考えると幼少期からの運動教育が健康寿命にもつなげていくことから、3歳くらいから小学3年生までの公営スポーツ教室を開設する考えはないか。



幼少期からの運動は大切

町長 こども園では、幼児教育で最も重要とされる「基本的信頼感」を育み、「自己肯定感」を高めることを目的に、健康、人間関係、環境、言葉、表現に配慮し、子どもたちの姿勢や能力が小学校の「教育課程」に円滑につながるような取り組みを行っている。
また、昨年度から幼少期の体づくりを目的として、岩泉スポーツクラブのクラブ指導員を招き、各児童の年齢や個性に応じ、年間を通じた指導を計画的に進めている。

公設民営塾の開設を 町独自の方法を検討

問 町では県立岩泉高等学校に対して、存続や人材育成を真剣に考え、年間4千万円を超える補助を行っているが、その効果をどのように捉えているか。
また、他の自治体では公設民営塾を開設し効果を出しているようであるが、町では開設する考えはないか。

教育長 岩泉高等学校では、学校経営の柱の一つに「難関大学進学へも対応できる学校」を掲げており、学校存続にもつながる学力向上対策に鋭意取り組んでいる。
新聞で報道された「公設民営の学習塾」の事例も見受けられるが、他の事例にとらわれず、課題などを検証した上で、本町の独自色を発揮でき、生徒の希望進路が実現できる効果的な方策について、調査、研究していく。

17文字の
ひとりごと

教育が

人財育て

町そだつ



脳卒中死亡率日本一からの脱却を

さかもとのぼる
坂本昇 議員

食生活の改善・運動普及など推奨 中居町長

問 本町は脳卒中死亡率日本一という不名誉な結果になっている。

町では、健康増進計画を策定し、積極的に取り組ん

でいるが、脳卒中対策の成果はどうか。
また、生活習慣病の改善であるが、対策をどう取っているのか。

併せて、心の健康問題について、自殺者が増えているがその改善策を。示せ。

町長 脳血管疾患による死亡率第1位という状況は、継続している現状にある。疾病を抑制するため、高血圧の予防、減塩の取り組みを実施した結果、減少傾向となった。

今後も食生活の改善、個々に適した運動普及、家庭血圧測定の推奨、健診未受診者対策など、訪問指導や健康づくりの情報発信を行い、「生涯現役」「健康長寿」を目指していく。

自殺対策としては、「岩泉町自殺対策計画」を策定し、自殺防止になお一層取り組みていく。



日頃の運動で生活習慣病予防

廃校舎の活用で地域活性化を 地域の意向を踏まえ検討する

問 学校数・児童生徒数は、昭和35年度と比較し昨年度には学校数で4分の1、児童生徒数では、10分の1まで減少し、廃校も相当数に上る。

学校は、地域の活動の拠点で、地域コミュニティ創生には重要な役割を果たしてきたものであり、廃校になっても地域に即した活用が必要不可欠である。

1校でもモデル的に活用し、地域活性化のきっかけにすべきと思うがどうか。

町長 全国では、廃校施設の約7割が何らかの形で活用されており、その用途は多種多様となっている。

しかし、大規模な施設がゆえに、その活用にあたっては、維持管理費や改修費用の負担もあり、また、安全確保の問題もある。

学校は教育施設であるとともに、長年、地域のシンボリック存在としてその歴史を刻んできたものである。地域の意向に十分配慮しながら、広く町内外の企業などによる活用も視野に入れ検討を進めていく。

17文字の
ひとりごと

健康は

元気なうちに

推進を



県と同じ家賃の減免制度に

はやしききょうじろう 議員
林崎 竟次郎

公平平等な制度設計を検討

中居町長



子どもたちの成長にはかせない給食

問 岩手県の公営住宅家賃の減免制度は、世帯の政令月収が6万9千円以下の場合、その収入の額に応じ1〜9割の減免を実施しており、宮古市なども県と同じ制度である。

町長 一般の公営住宅の家賃は個々の収入に応じた家賃としている。現在、台風豪雨災害の災害公営住宅は、家賃決定に向け、詳細を詰めている。今後においても、災害公営住宅や一般の公営住宅の家賃減免については、公平、平等な形で低所得世帯が安心して生活できるような制度設計に努めていく。

給食費の一步踏み込んだ助成を 県内の動向を注視し慎重に対応

問 宮城県七ヶ宿町では、給食費を平成21年度から一食あたり小学校20円、中学校25円を助成し、28年度からは無償としている。

県内では、九戸村、雫石町で半額を、一戸町では、1食あたり26円を助成している。

教育長 本年度の調査によると県内の給食費助成の状況は、一部助成が5町村、食材料に対する公費負担措置が、本町を含めて9市町となっている。県内の動向を注視しながら、慎重に対応していく。また、給食費の公会計化については、学校と連携・協議しながら、教員の負担軽減と給食関係事務の効率化が図られるよう、検討していく。

本町でも、町産短角牛肉の食材料一部補助をしているが、できるところから始めるということ、一歩踏み込んで、一食あたり小学校20円、中学校25円の助成を始める考えはないか。さらに、学校給食費の「公会計化」を進めるべきと考えられているか。

その他の質問

▼台風10号被災世帯の住宅再建について

17文字の
ひとりごと

「検討す」

さらに一押し

実現へ



門地区にロードヒーティングを

のだてやすき
野館泰喜 議員

研究しながらまずは除雪対策を 中居町長

問 門地区の冬期間の路面状況の悪さは町内きつてのものがある。

こがわごども園から小川中学校の区間にロードヒーティングの敷設を考えるべ

きだ。建設に当たっては、コストを抑えた新方式を検討し、実施すべきと考えるかどうか。

併せて、小川地区の振興策として、小川地区複合施

設の整備が棚上げになって
いるが見通しはどうか。

町長 門地区では、除雪が追いつかず凍結路面が長く続く状況にある。商店街の町道両側に排雪場所、流雪溝がないことや高齢化などの影響と考える。

ロードヒーティングについては、費用負担が大きくなり難しい。ローコストでできるシステムを研究しながら、当面は除雪作業を効率的に行う準備を進める。

小川地区複合施設については、復旧・復興最優先の中で、安家支所の公共施設の整備が優先となる。その後、整備計画再開の目途を立てる。

改良が求められる門商店街



子育て支援条例の一本化を 住民ニーズ踏まえ調査研究

問 本町ではさまざま子育て支援策を打ち出している。出産祝金、子育て応援住宅、医療費助成、就学援助などそれぞれの部署において取り組みをそれぞれ条例化されている。

これでは内外に対する訴求力が弱い。町民アンケートやアイデアを募集して、前例のないレベルの「岩泉町子育て支援条例」の制定を目指すと思うがどうか。

町長 これまで、出産祝金、子育て応援住宅、医療費助成、就学援助などそれぞれの部署において取り組みを実施している。

今後、庁内機関の連携による協議、子ども・子育て会議の議論を通じ、平成32年度の「岩泉町子ども・子育て支援事業計画」の改定に向ける。

さらに、本年度予定している住民ニーズ調査の結果を踏まえ、条例の制定についても調査、研究して行く。

17文字の
ひとりごと

小川の地
ふたたび見たいな
子が輪の地

災害復旧工事案件 などを可決

【第1回臨時会】

第1回臨時会は4月24日に開催され、工事契約に関する15議案と条例改正の専決処分1件の承認について審議しました。

その結果、議案すべてを原案のとおり全会一致で可決しました。

■主な工事

▼工事名 一級町道鼠入川線ほか災害復旧(その2)工事

▼金額 11億484万円

▼請負者 小野新建設(株)

▼工事名 その他町道木原線道路災害復旧工事

▼金額 9828万円

▼請負者 高徳建設(株)

▼工事名 一級町道奥岩泉線ほか災害復旧(その3)工事

▼金額 3億2022万円

▼請負者 小野新建設(株)

三セクとの意見交換

【産業・総務常任委員会連合調査会】

産業常任委員会(三田地久志委員長)と総務常任委員会(坂本昇委員長)では、5月18日に岩泉ホールディングス(山下欽也社長)の現状と課題について意見交換を行いました。

委員から、グループ会社4社(※)の経営状況や今後の経営方針について質問をし、それに対し山下社長は「復活した岩泉ヨーグルトは好調な売り上げを維持しているが、価格競争の激しい水と菌床しいたけは苦



経営改善に向け奮闘

戦を強いられている。今後、新商品開発を進めながら経営改善を図っていく」と答えました。



常任委員会とは？

岩泉町議会では地方自治法に基づき、総務、産業、広報広聴の3つの常任委員会を条例で設置しています。

総務常任委員会は、福祉や医療、教育などを、産業常任委員会は、経済や建設、観光分野を担当し、陳情や請願の審査、町政課題の調査研究を行っています。広報広聴常任委員会は、議会広報の編集や議員と語る会など町民との橋渡し役を担っています。

復旧・復興の進捗状況を確認

【復旧・復興推進調査特別委員会】

平成28年台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会(野館泰喜委員長)は、5月22日に岩泉土木センターと復旧・復興状況について意見交換を行いましたので、内容を要約してお知らせします。

時間がかかるイメージがあるが、東日本大震災以降、だいぶ短縮されたので期間内に実施可能と考える。

問 河道掘削で出た残土の処分地の用途は。

答 小本川全体で280万立方メートルの残土が出る見込みであり、そのうち半分は処分地の用途がたっていない。特に下流域が足りない状況で、現在も処分地を探している。

問 河川改修の河道掘削について、相続や筆界未定の問題で、5年間で完了するのは難しいのではないかと。

答 収用法が適用になる事業とする。収用関係は、

議会を傍聴 しませんか

次の定例会は、
9月上旬に
開会予定です

傍聴の
手続きは
簡単！



傍聴席の入り口で、名前と連絡先を書き添えます。

(※) (株)岩泉産業開発、岩泉乳業(株)、(株)岩泉きのこ産業、(株)岩泉総合観光の4社

町づくりの多くの意見

「議員と語る会」を開催



皆さんの提言を今後の町政に反映させていただきます

主な質問と回答

問 議会の傍聴には、できるだけ足を運びたいと思っているが、議案の資料がないため内容がよくわからない。(岩泉)

答 皆さんからそういったご意見があり、次の議会から予算と人事案件以外は資料の閲覧を可能としたので、ぜひ、議会に足を運んでほしい。

問 工事車両がスピードを出して走っており、大変危険である。また、台風災害によりカーブミラーが流出したままなので早く直してほしい。(岩泉)

答 安全に走行するように工事発注者に注意を促す。

問 カーブミラーについては、担当課に早急に要望する。
問 放課後児童クラブがな

「議員と語る会」を6月18日から7月6日にかけて6地区で開催し、延べ131人が参加しました。復旧工事が進む中、今なお多くの不安や新しい課題が出てきていることを認識した会でした。

町民の声を直接聞き、語り合うことで、共に一丸となって前へ進むために、議会としてもさらに活動を活性化していきます。

くって困っている。早く作ってほしい。(小川)

答 6月の議会でも町に要望した。出来るだけ早く実現するよう議会としても努力する。

問 鹿などの鳥獣が増えてきているが、対策はどうなっているか。(大川)

答 有害駆除をするハンターは、150人から40人程度に減った。罟の講習会を増やす計画なので、ぜひ、かかわってほしい。

問 鹿を捕っても、残さ処理が大変である。個人で宮古市まで持ち込むのも大変である。(大川)

答 液体で溶かす処理方法もある。町に提言していく。
問 議会改革とは、どのようなことをしているのか。(小本)

答 議会基本条例を制定し、住民に開かれた議会を

目指している。この議員と語る会もその一環である。

また、定例会終了後に議会反省会を行い、議員相互に討議し資質の向上を図っている。

問 限界集落になってきており、回覧板を届けるのも大変だ。(安家)

答 行政区の再編と回覧板の簡素化を考えて提案していきたい。

問 岩泉乳業への乳量が増えないと思うが、対策はどのように考えているか。町の個人酪農家を育成しながら振興すべき。(有芸)

答 酪農振興は、課題として捉えている。町と協議しながら対策を考えていく。

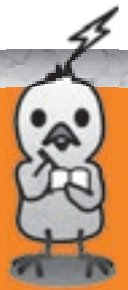
問 ケーブルテレビ整備事業とは。(全地区)

答 ぴーちゃんを使って、テレビ信号を各家庭に送るようにする。



さらなる住民福祉の向上へ

各会場からいろいろな
ご意見をいただきました。
その一部をご紹介します。



参加者の声

少子高齢化は、町民
全てで知恵を出し
合って努力すべき。

早坂トンネルが一日
中暗いと感じる。明
るくできないものか。

三陸沿岸道路の岩泉
龍泉洞 IC を降りて
からの標識が不親切
なので、わかりやす
くしてほしい。

小本地区の行政区の
見直しを早急にする
べき。

各種団体の事務局が
使える活動拠点がほ
しい。

子育て支援の方向が
違うのでは。中心部
だけに集めるのはお
かしい。

消防屯所にぴーちゃ
んを設置してほしい。

仮設住宅では、皆が
不安な思いでいる。
励ましをしてほしい。

定住化のために、教
員住宅をうまく活用
すべき。

龍泉洞だけでなく、
町全体が連携した観
光施策を。

議会はしっかりと行
政をチェックしてほ
しい。

町民バスに中学生を
無料で乗せてほしい。

空き家バンクをもっ
と進めるべき。農地
付き住宅など新規就
農者が増える施策を。

町の政治を知ることが
できて良かった。町民の
声を多く聞いて、より良
い岩泉町にしてもらいた
いです。



かみだて たけし
上館 健志さん
(小川・46歳)

活発な意見交換がされ
たが、議員はもっと身近
な問題にも知識を持って
欲しいです。



くどう こうた
工藤 宏太さん
(岩泉・71歳)

復旧工事が進み、壊れ
たところは直っていくと
思いますが、気持ちの面
で前に進めるような明
るい希望を
持ちたい
です。



にしくら
西倉 ミヨさん
(小本・69歳)

傍聴者の声

6月定例会の傍聴者数はのべ12人でした。
傍聴された小川の菊地トシさんから議会に対する声を聞きました。



菊地 トシさん
(小川 76歳)

―傍聴のきっかけは。―
菊地 友達と「前から行ってみたいね」と言っていました。やっと来られました。友達は急にキャンセルになりましたが、途中まで来たので意を決して汗

がんばって来て
よかった!

をかきかき一人で坂を歩いてきました。(笑)

―傍聴された感想はどうでしたか。―

菊地 考えていた以上に議会では、たくさんの方に取組んでいてくれて感激しました。議員さんたちも随分と活動しているのがわかりました。実際の現場には来てみるものですね。

―議会や町政に対する要望はありますか。―

菊地 私は小川の門地区に住んでいますが、台風10号の被害を受けて自宅が全壊しました。ずいぶんと町からご支援をいただいたのでお礼かたがたこの場に来てみました。本当にありがとうございます。これから町が一丸となって前に進むよう応援していきます。

～全国各地からの応援に感謝～



地域整備課の応援職員



上下水道課の応援職員

台風災害からの復旧・復興のため、全国各地から応援職員が来ています。その多くは、地域整備課、上下水道課に配属され、道路や河川、水道施設の復旧に日々奮闘しています。皆さんの応援に感謝！

応援自治体

高知県高知市、埼玉県川口市、岩手県、盛岡市、二戸市、滝沢市、岩手町、雫石町

広報広聴常任委員会

議員		委員長		副委員長	
加藤	久民	八重樫	龍介	小松	ひとみ
野	泰喜	三田地	久志	山	和英
島	昌典	山	和英	島	山

編集後記

新町政が本格的に始動しました。平成30年第2回定例会では、政策経費を盛り込んだ肉付け的な予算が組まれ、特別委員会では活発な議論が交わされました。▽今号も、町民の皆さんを取材し、感想、意見をもらう「おしえて まちの声」を掲載しています。皆さんからより親しまれる紙面づくりに努めていきます。これからも議会だよりをよろしくお願いします。
(委員 島山和英)



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一岡伐に寄与した紙」を使用しています。

